

諸先生御選

現代俳句協会副会長 倉橋 羊 村 選

◎梅日和歩幅合せる夫の居て 小川名梅乃  
 石地蔵胸一線のひび寒し 佐渡谷秀一  
 冬空の泣きごとと言えぬ明るさよ 瀬戸 溪水  
 極寒に霜柱もなき乾土かな 桜井 幸枝  
 初針や卒寿の叔母の鼻眼鏡 稲葉 幸  
 継いだ名は「勘九郎」として浅き春 秋山 佳史  
 雪下ろすテレビ画面や皆老いて 平井 与史  
 湾凍てて赤と緑の航路灯 古野 明美

圓主 宰 石河 義 介 選

◎鬼やらいどよめきつれて力士来る 野上 貞勝  
 海からの風にまつすぐ野水仙 安中 忠夫  
 野猿凍て羅漢の像に塊れり 秋山 佳史  
 春光や波頭のサーフア―豆の如 岩野ヤエ子  
 生き急ぐやうや日暮の牡丹雪 増田 守  
 豆の香の甘き指先味噌を搦く 稲葉 幸  
 プランコを押し子の子の笑みのはじけたり 岩野ヤエ子  
 雪掻きの人を見下ろす雪の壁 古野 明美

あかぎ主 宰 飯村 寿美子 選

◎医者嫌いの義父をなだめしのつべ汁 青木美紀子  
 独楽廻す爺の手先に円らな目 平井 与史  
 回る回る開ける炎の御水取 秋山 佳史  
 冬の星ホームページに撃有り 坂本 則敏  
 冬空や泣きごとと言えぬ明るさよ 瀬戸 溪水  
 切に濡れるとげぬき地藏冬早 野上 貞勝  
 序列なき石仏白き雪帽子 小川名梅乃  
 豆の香の甘き指先味噌を搦く 稲葉 幸

古志 小寺 敬 子 選

◎棟上げや幣ひらひらと春の鶯 野上 貞勝  
 冬空や泣きごとと言えぬ明るさよ 瀬戸 溪水  
 海からの風にまつすぐ野水仙 安中 忠夫  
 粟飲むだけの日課や寒の入 佐渡谷秀一  
 元気なる証しに交わす年賀状 安中 忠夫  
 生き急ぐやうや日暮の牡丹雪 増田 守  
 鬼やらいどよめきつれて力士来る 野上 貞勝  
 よき日てふ今朝の占ひ春立ちぬ 藤本 友子

爨 焰 北 登 猛 選

◎天を突く力のありき冬木立 岩崎 真三  
 梅日和歩幅合せる夫の居て 小川名梅乃  
 元気なる証しに交わす年賀状 安中 忠夫  
 序列なき石仏白き雪帽子 小川名梅乃  
 春の雪地に着くまでが夢の中 小川名みさ  
 コンパクト開けば春空小鳥来る 小川名梅乃  
 よき日てふ今朝の占ひ春立ちぬ 藤本 友子  
 老ひも若きも一人居や冬籠り 古野 明美

末黒野主 宰 小川 玉泉 選

◎湾凍てて赤と緑の航路灯 古野 明美  
 梅日和歩幅合せる夫の居て 小川名梅乃  
 暇顔の札売る巫女や五日過ぐ 藤本 友子  
 海からの風にまつすぐ野水仙 安中 忠夫  
 切に濡れるとげぬき地藏冬早 野上 貞勝  
 真似ことに終ふも安堵の鬼は外 藤本 友子  
 福養草凍てる土から芽をもたげ 安中 忠夫  
 雨戸明け夜寒の朝に驚きぬ 安沢 文枝

頂点 鶴 巻 ちしろ 選

◎冬の星ホームページに撃有り 坂本 則敏  
 生きてゐる痛みのひとつ木の芽雨 増田 守  
 粟飲むだけの日課や寒の入 佐渡谷秀一  
 初針や卒寿の叔母の鼻眼鏡 稲葉 幸  
 針供養供養もされぬ人の数 増田 守  
 生き急ぐやうや日暮の牡丹雪 増田 守  
 春の雪地に着くまでが夢の中 小川名みさ  
 コンパクト開けば春空小鳥来る 小川名梅乃